

週間市場レポート (2021年7月5日~7月9日)

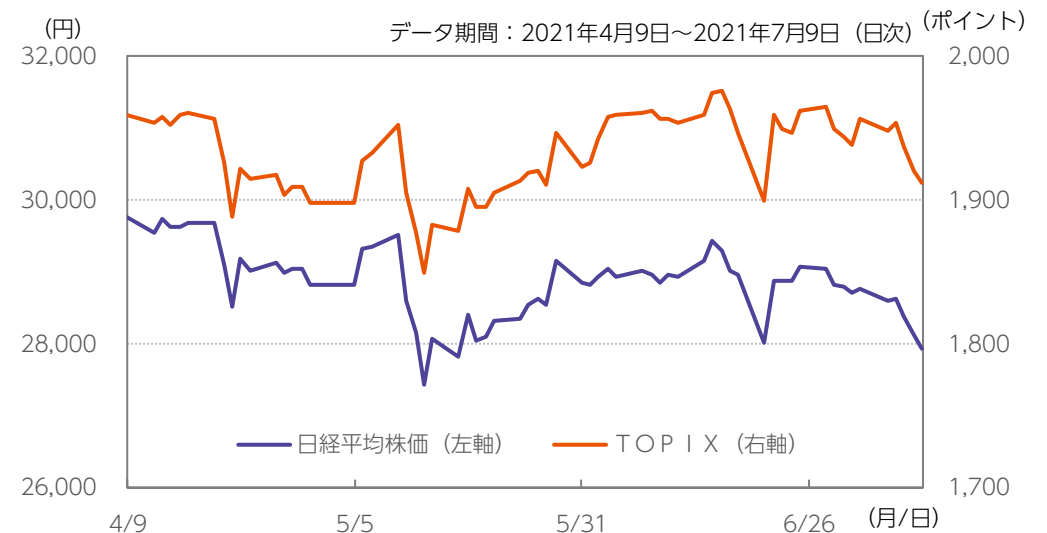
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/7/2	先週末 2021/7/9	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,783.28	27,940.42	▲ 2.93 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,956.31	1,912.38	▲ 2.25 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,786.35	34,870.16	0.24 ↑
S & P500種指数		4,352.34	4,369.55	0.40 ↑
ナスダック総合指数		14,639.33	14,701.92	0.43 ↑
ユーロ・ストックス50指数		4,084.31	4,068.09	▲ 0.40 ↓
S & P/ASX300指数		7,301.91	7,265.96	▲ 0.49 ↓
上海総合指数		3,518.76	3,524.09	0.15 ↑
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,063.56	1,038.03	▲ 2.40 ↓
東証REIT指数		2,162.16	2,174.61	0.58 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		860.70	881.97	2.47 ↑
ASX300 REIT 指数		1,554.20	1,547.50	▲ 0.43 ↓
グローバルREIT (除く日本)*		202.89	207.40	2.22 ↑
日本10年国債 (%)		0.045	0.033	▲ 0.012 ↓
米国10年国債 (%)		1.424	1.360	▲ 0.064 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.235	▲ 0.293	▲ 0.058 ↓
英国10年国債 (%)		0.703	0.655	▲ 0.048 ↓
ドル/円		111.05	110.14	▲ 0.82 ↓
ユーロ/円		131.75	130.80	▲ 0.72 ↓
英ポンド/円		153.52	153.07	▲ 0.29 ↓
豪ドル/円		83.57	82.50	▲ 1.28 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,315.83	3,278.39	▲ 1.13 ↓
WTI原油先物 (ドル)		75.16	74.56	▲ 0.80 ↓
CRB指数		214.95	211.80	▲ 1.47 ↓

2) 日本の株式・債券市場

◀ 株式 ▶

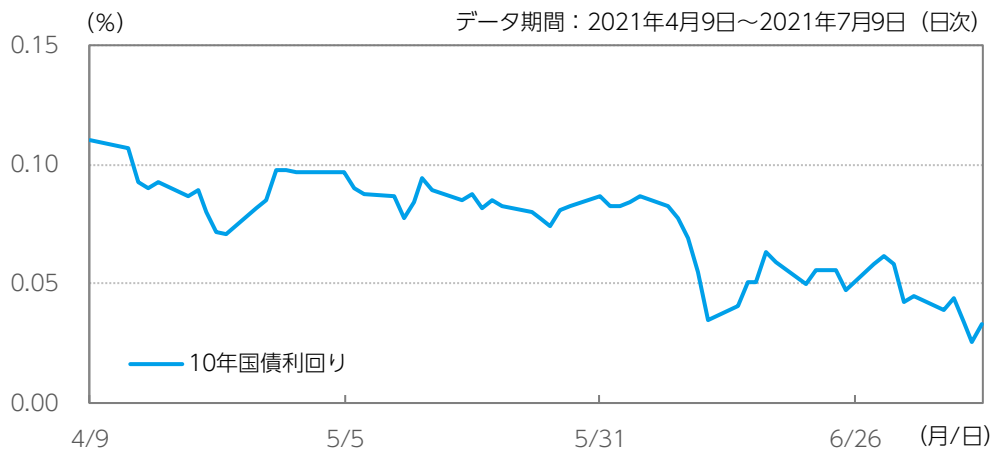
日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で大幅下落となりました。国内で新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあることに加え、ワクチン供給の遅れへの懸念などから、景気敏感株を中心とした幅広い銘柄に売りが広がりました。8日（木）に政府が東京都に対し、4回目となる緊急事態宣言の発令を決定すると、経済活動の正常化が遅れるとの見方が広がり、週末にかけて下げ幅を拡大させました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

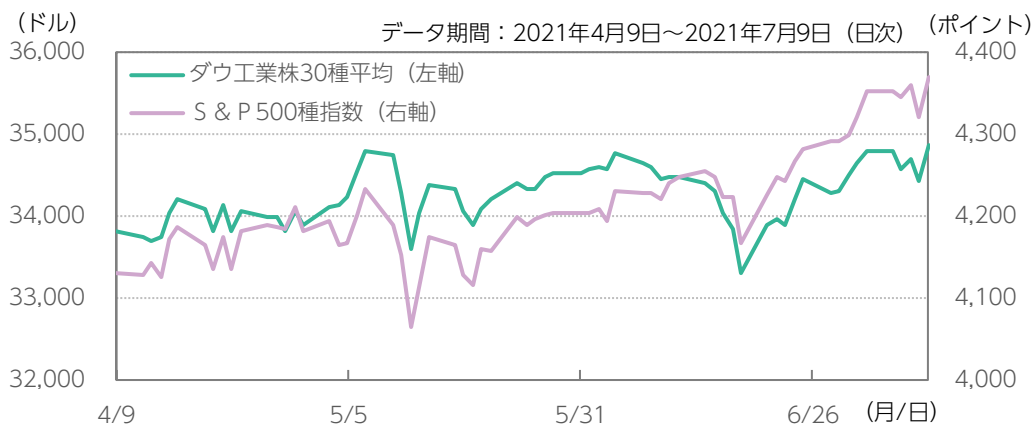
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。6月の米雇用統計を受け、米連邦準備制度理事会（FRB）による早期の利上げ観測が後退すると、国内金利は低下したものの、週末は、原油高によるインフレ懸念から、時間外取引で米長期金利が上昇すると国内金利にも波及し、週間では横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

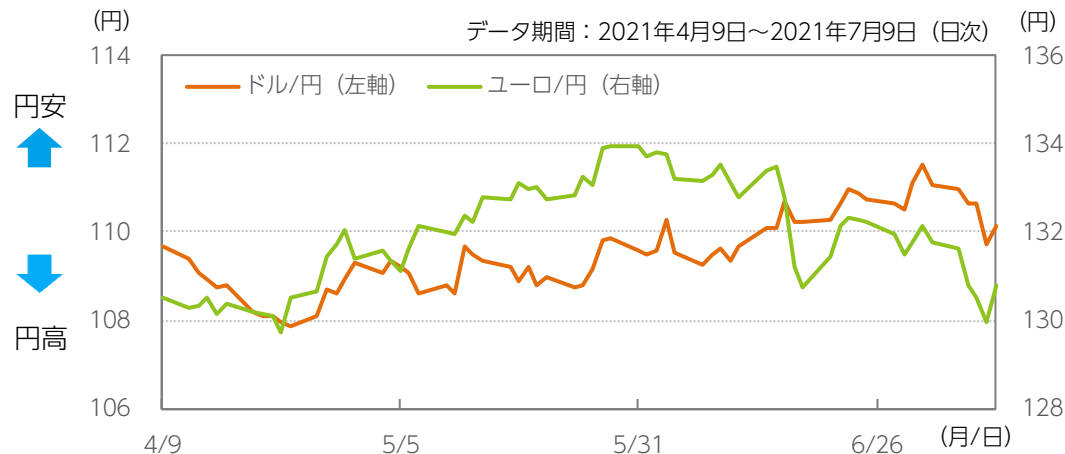
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で横ばいとなりました。新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大で、米国景気の回復が鈍化するその見方から売られる場面もあったものの、週末は、来週から本格化する米企業決算に対する期待などから買いが進み、週末のNYダウは史上最高値を更新しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。米金融当局による金融緩和の長期化観測を受け米長期金利が低下すると、日米金利差縮小を意識した円買い米ドル売りが優勢となりました。週末に日米金利差縮小がやや一服すると、円売り米ドル買いが進行し、週間では横ばいとなりました。



5) 今週の見通しについて

先週の国内株式市場は、新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大で、経済活動の正常化が遅れるとの懸念から下落しました。

日本政府は8日（木）、新型コロナウイルスの感染再拡大が続く東京都に対し4回目となる緊急事態宣言を発令しました。ワクチン接種の普及により新規感染者数が抑制された場合には、前倒しの解除も検討されているものの、足元ではワクチンの供給不足により、一部の自治体では接種予約停止の動きが見られます。ワクチン接種が進む欧米においても、活動制限の解除後に再び感染が拡大しており、景気回復の遅れを懸念する声も出ています。

今週より、日米主要企業の決算発表が本格化します。経済活動の再開を背景に、米主要企業の4～6月期決算の発表は、大幅な増益が予想されており、良好な決算結果が確認されれば米国株式市場は大きく上昇する可能性があります。しかし、引き続き、変異ウイルスによる世界的な感染再拡大が株価の上値を抑えることとなりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>